



No.108 2009. 12.

発行 真言宗豊山派
北田山宝泉寺
所沢市北岩岡130
編集 色摩真琴

元旦

お経の会

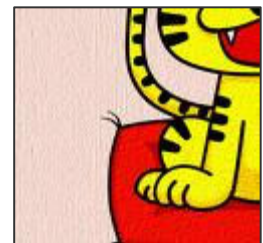
午前9時 寶泉寺本堂

平成22年の年頭を宝泉寺で迎えませんか。例年のとおり皆様の御来山をお待ち致します。なお、お持ちの方は輪袈裟、数珠を、また昨年までの古いお札、お守りもお持ち下さい。住職、副住職は**午前0時**を期してお勤めをしておりますので、こちらにもどうぞご参加下さい。本堂へは正面階段を上り、浜縁を右側に回ったところが入り口となっております。

さて平成21年もあとわずかな日数を残すだけとなりました。暖冬との予報をくつがえすような、このところの寒波のなかで日本スイセンがけなげな花を咲かせ北風にゆられています。皆様にはどのような年だったのでしょうか。小僧(しょうそう)はこのところまったく見ることもなかった大河ドラマ「天地人」を今年は見続けました。我がふるさとにまつわる番組では見ないわけにはいきません。10月末父の13回忌の法要に帰郷の際、米沢に立ち寄り上杉神社にもお参りをしてきました。ここは高校時代、弓道の朝練に毎週通った懐かしいところですが、日曜の午前、駐車場は満車、拝殿はお参りで列をなしてどこも人であふれ番組の影響の大きさを物語っていました。

これからの年末年始、去りゆく年に万感を込め、そしてきたる年には新しい期待をいただくのはどなたも同じことだと思います。一年をどう過ごしたかを十分考えることで、きたる新しい年の目標やそこに至る方法も明らかになっていくことでしょう。

初詣にみられるようにこのようなき「神仏に祈る」行為は誰にもすぐに思いつくのですが、果たしてそれで思いや願いが叶うかと言えばそうとは思えません。真言密教では何よりも自らの努力、仏様の御加



護や一切の取り巻く環境の一致（るり光77号）に依るとされます。神仏へ自らが発する密かな決意表明であるといえましょう。そして願いが叶ったときにはよく「おかげさまで・・・」とありますが、自分の努力だけではなく大いなる見えない力が働いているという思いがあるからだと思います。

さて来年はどのような年にしますか？元旦、宝泉寺本堂でお会いしましょう。

副住職 雑記 ⑩

今年を振り返る

今年一年は、例年にも増して印象的な出来事の多い年でした。

楽しいこと、悲しいこと。もちろんどちらも起こったわけですが、楽しい方で特に記憶に残る出来事といえば、やはり9月に開催された所沢市市民文化センターミューズでの声明コンサートでしょうか。所沢近隣だけでなく、浦和、川口、鴻巣、はては東京の江戸川区からもかけつけてくれた僧侶30余名の歌声（声明）と、プロの太鼓奏者、上田秀一郎氏が生み出す太鼓のリズム、そして聴衆である皆さんをも巻き込んでお唱えした般若心経の響きが、まさに渾然一体となったすばらしいコンサートでした。

次はいつやるの？という嬉しいリクエストの声をたくさんいただいておりますので、同じ規模で開催できるかはわかりませんが、来年もお大師様から綿々と受け継がれてきた、真言宗のお経の調べを皆さんにご披露できればと考えております。

反対に最も悲しかったことといえば、母方の祖母が亡くなったことです。私にとって最後の祖父母で、享年85才。老衰で家族に見守られながらの大往生でした。お医者様にもう長くないよと宣言をされてから、多くの親戚が日を変えて集まり、皆が普段意識することの少ない死を想い、それを受け入れる準備をしてきました。おばあちゃんの死を迎え、自分自身僧侶としてもほんの少し成長できたのではないかと思っています。

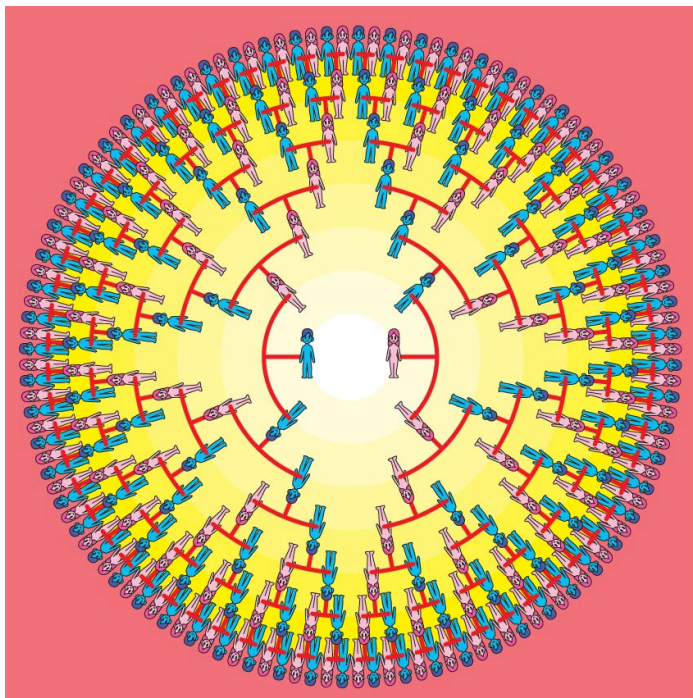
コンサートや祖母の死。その象徴的な出来事を通して「縁」というも

のについて考えることが、最近特に多くなりました。縁とは「関係性」と言い換えることができますが、実体のおぼろげなこの世界の存在は、すべからくこの関係性によって成り立っていると仏教では考えます。例えばコンサートという出来事は、それ自体が存在しているのではなくて、演者をはじめ、舞台裏の人間、聴衆、道具、施設、空間全てが関係し合っ
て生み出されます。同様に私たち自身も、一個の物体として存在しているのではなく、私たちを取り囲む世界（社会）との関係の中で浮かび上がるのです。

だから、私たちの世界には（良い悪いは別にして）不必要なものなど何もありません。そしてご先祖様から受け継いだ「血」という深い縁は、それを強く意識させてくれます。下の絵は、悟東あすかさんという僧侶であり漫画家でもある女性が描かれた「先祖七代」をわかりやすく示したものです。たった七代さかのぼっただけで、こんなにもたくさん私たちの存在の根底に関わる縁が存在します。さらに、言うまでもなく、今生きている身の回りの世界にはその何百、何千倍もの数え切れない縁が有り、私たちを包んでいます。

今年は特に、「縁」というものについて考えずにはいられない年でした。来年もこの感覚を忘れることなく、たくさんの縁によって自分は成り立っているのだと意識しながら日々を過ごしていきたいと思ひます。

最後に、これも「ご縁」なのでしょう。去る 10 月 12 日結婚しましたことをご報告致します。宝泉寺本堂を式場とし、親類縁者の方々に見守られながらの結婚式でした。ご報告が遅くなったことをお詫びするとともに、お祝いの言葉をかけてくださった皆様方には改めて御礼申し上げます。来年も増えました家族共々どうぞよろしくお願ひ致します。



年 回 表

平成22年

寅

一周忌	平成21年
三回忌	平成20年
七回忌	平成16年
十三回忌	平成10年
十七回忌	平成6年
二十三回忌	昭和63年
二十七回忌	昭和59年
三十三回忌	昭和53年

年回表に仏様の命日を照らし合わせるとき、ぜひ他の仏様の命日もあわせてご確認下さい。かさなる場合、一般的にはどちらかへあわせて一緒に法事を勤めておられます。

ご不幸のお知らせもすみやかに宝泉寺までお願い致します。それとご近所の方などのご相談もいつでもお受け致しております。

旧本堂改修工事

来年お盆の時期に使用開始に向けて準備中、早春には着工の予定です。ご不便をおかけするようなこともあろうかと思いますがご協力のほどをお願い致します。



頭上落雪注意



本堂屋根からの落雪には十分な注意を願います。このところ大雪に悩まされることも少なくなりましたが忘れた頃にやってきますので・・・

編 集 後 記

※今年、友人が心臓を手術、病院に行ったときにはすぐに手術か、あと3ヶ月の命といわれたそうだ。何よりも健康の自己管理を痛感。そういえばこの秋に引いた風邪が治らなくて・・・

※20歳代で怪我した左膝が痛むことがありコラーゲンを飲んだ時期があったがそれでもどうも思わしくはなかった。最近読んだ雑誌によると食物は消化管内でいったん完全に分解されるからコラーゲンをとってそれがそのままコラーゲンとして身体の一部になるわけ

ではないという。重要なのは生活を正すことと適度な運動。「健康ブーム」に気をつけろ、だそうだ。やはり自己管理か。

※なるべく見やすいようにと文字をすこし大きくしてみました、メガネなしで読めますか？

※新政権発足後3ヶ月を過ぎたがハラハラドキドキの政治ショーを見せられているようだ。生活全般にわたる安心感こそ政治に託しているのだが。

※ご本尊薬師如来の御加護あらんことをお祈り申し上げます。 Dec.23.2009(琴)